

育てよう！思いやりの心～「人権の花」苗を贈呈～

「人権の花運動」が6月4日に行われ、人権擁護委員の皆さんが町内の小学校を訪問し、マリーゴールドやサルビアなど約1,300本の花苗を各小学校の代表児童に贈呈しました。

この運動は、小学生が互いに協力し合い、花を育てることで相手を思いやる心を養うなど、情操を豊かにすることを目的に実施されています。

贈呈された花苗は小野高校で栽培されたもので、今後は小学校で成長の様子を記録し、10月に開催される「小町ふれあいフェスタ」の会場に展示する予定ですので、ぜひご覧ください。



代表児童と人権擁護委員の皆さん

子どもの健やかな成長のために ～国際ソロプチミスト田村が認証20周年を記念して知育おもちゃを寄贈～

国際ソロプチミスト田村（博多泰子会長）会員の皆さんが6月7日、町長室を訪れ、知育おもちゃを町に寄贈しました。

これは国際ソロプチミスト田村が、認証20周年を記念して子どもの健やかな成長に役立つようにと寄贈されたもので、ぬいぐるみやリングドミノ、人や動物の寄木など計13点が寄贈されました。



国際ソロプチミスト田村の皆さん



おもちゃに興味津々な子どもたち



寄贈されたおもちゃで遊ぶ子どもたち

このおもちゃはふるさと文化の館の「子どもの笑顔ひろば」に置かせていただきます。子どもたちが工夫し想像力豊かに遊ぶことができるおもちゃですので、お気軽にご利用ください。

このたびの寄贈まことにありがとうございました。